



所在地 新潟県燕市松橋198番地1
 代表者名 片岡 秀夫
 電話番号 0256-63-2816
 F A X 0256-62-4195
 U R L <http://www.ash.ne.jp/~kataoka/>
 E - m a i l kataoka@ash.ne.jp
 設立年月日 昭和47年7月27日
 資本金額 3,000万円
 従業員数 31人
 業 種 金属製品製造業
 得意分野等 業務用庖丁製造・販売

テーマ

レーザーマーカ導入による生産ライン最適化の実現

目的

現在、製品への名入れ（マーク入れ）は手作業により印字している。名入れ工程の生産性の低さが原因により後工程で待ちが発生する場合がある。レーザーマーカを導入し生産ラインの最適化を図り合わせて品質強化（均一化）を実現する。

事業の内容

■事業取組みの経緯

弊社は業務用の自社製品（ブランド）の包丁製造と販売を中心におこなっている。調理道具における品質管理は、国内はもとより海外ユーザーからも強く求められており、これらに対応するために生産体制の強化が課題であった。そこで近年は、設備投資による機械化を進め効率化を図ってきたが、電気腐食により手作業で一本ずつ製品へロゴマーク等を印字する「名入れ」工程での生産性の低さから後工程において作業が滞る状態が発生する場合がある。また使用する材料により鮮明に印字ができない事や、手作業であるために印字ムラが発生するなどの不良が発生していた。上記の課題解決のために同工程を機械化し生産性と不良率の改善を図るために取り組んだ。

■実施内容

これまでブランドマーク等の製品への名入れ（マーク入れ）は、電気腐食により作業者が手作業で一本ずつ印字してきた。ここでの問題は①生産性が低いこと、②名入れ後の後工程で待ち時間が発生、③文字ズレ等の不良が発生するため均一化が図れない等を克服するため、名入れ工程を機械化するためにレーザーマーカの機械装置を導入し、生産性と品質向上を実現した。



事業の成果

■事業取組みの成果

レーザーマーカの導入により、従来の電気腐食と比較して名入れ1時間当たりの出来高が6.7%向上し、不良率は80%まで改善、課題であった「名入れ」工程の後工程での待ち時間も緩和された。本事業の目的である生産ラインの最適化が図られ、印字の鮮明度、バラツキが改善され品質の均一化が図られたと共に納期も短縮され、他社との競争力が向上するものと考ええる。

今後は他工程の技術力アップを駆使して、増加傾向にある受注に対応する事が可能となった。またオペレーターの新規雇用にもつながった。



上：レーザーマーカによるマーク
下：電気腐食での不良



導入したレーザーマーカ

■その他（製品等の内容、今後の活動予定、販売計画等）

近年、弊社では販路拡大を目的に包丁製造技術を用いてステーキフォーク・ナイフの開発をした。材料に複合材（ダマスカス鋼）を使用し鍛造することにより現れる優美な波紋模様が特徴で、心材の緻密さと均一性を向上させ一層の切れ味の良さを実現している。レーザーマーカにより曲面などの複雑形状部や細部にも印字が可能であることから、鮮明に印字され消える事のない弊社のブランド名は消費者やユーザーに品質と共に強い印象を与えられる。今後は海外見本市での発表を皮切りに、国内においても新たな販路開拓をおこなっていく。



主要製品

